



改元記念特集

広報誌で振り返る「平成」の幌延町

No.3

広報ほろのべ1998-9 No.407

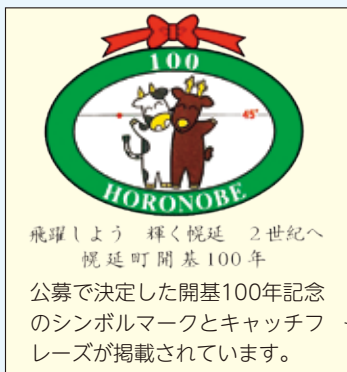
(平成10年9月号)

[こんなことが掲載されました]

サハリン見て、聞いて ー子供たちの熱い夏休みー

平成10年は幌延町開基100年の節目の年でした。この月の広報誌では、開基100年記念事業として、町内の中学生9名と随行者9名の計18名が8月4日から9日までの行程で、ロシアのサハリン州トロイツコエ村を訪問したについて掲載されています。

記事内では異国情緒な写真とともに、稚内からサハリン州の港までの6時間半の船旅の中でイルカやアザラシを見ることができたこと、現地に到着して数日は停電で大変だったこと、参加した子どもたちが、トロイツコエ村の孤児院や学校でダンスや会話を通してロシアの子どもたちと交流を深めていたことなどについてつづられています。



飛躍しよう 輝く幌延 2世紀へ 幌延町開基100年 公募で決定した開基100年記念のシンボルマークとキャッチフレーズが掲載されています。



▲表紙は「新しくなった『ど真ん中踊り』の行進」でした。



ほろのべの裏窓

■ 山菜取りや運動会のシーズンを終えて、あつという間に7月です。押入れの奥から扇風機を取り出し、お風呂上がりにアイスを頬張る季節がやって来ました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。
■ さて、7月から幌延町の組織が変わります。課・グループ・係の名称や各課直通の電話番号、業務の内容やご利用いただいていた窓口の場所などが一部変更となります。詳しくは今月号の16ページと、折り込みをご確認ください。
■ そしてこの広報誌も担当部署が変わり、7月からは住民生活課 生活グループが担当になります。今後ともなお一層のご愛読をよろしくお願い致します。

● 広報へのご意見、ご要望をお寄せください ●

総務財政課総務グループ

電話 5-1111 / 告知端末機 5-8811

五月定例俳句会作品

身ほとりの蝌蚪など亡び地球老ゆ
蝌蚪生る子供のいない村の道
蝌蚪の紐世代の糸を紡ぎたり
山寺にひっそり泳ぐ蛙の子
蛙の子広き田水を泳ぎくる
大いなる旅立ちの夢蛙の子
お玉杓子ばつぽつ村が動き出す

幌延ほおずき俳句会

横山 貞雄
富樫 堅一
富樫 とも子
佐藤 光朗
熊谷 千恵子
小玉 利治
田中 徹男



|     |            |
|-----|------------|
| 男   | 1,178 (+1) |
| 女   | 1,121 (-1) |
| 計   | 2,299 (±0) |
| 世帯数 | 1,242 (-1) |

(令和元年5月末日現在) ※ ( ) 内は前月比

